

Global Express

SAMPLE vol. 1 2004 June

グローバル・エクスプレス サンプル版 第1号 2004年6月発行 (DEAR News109号付録)

イラク人質事件を考える

2003年3月にはじまったイラク戦争は、同年5月にブッシュ米大統領が終戦宣言をしました。しかし、依然としてイラク各地で混乱・戦闘が続き、イラク市民および米英軍をはじめとする各国軍兵士・関係者の犠牲が絶えません。2003年12月、日本政府は自衛隊のイラク派遣を決定しました。また、2004年4月にはイラクに滞在していた日本の民間人5人がイラクで拘束され、人質となる事件が発生しました。

アクティビティ1: イラクはどこだろう？

★この教材はグローバル・エクスプレス第4号『イラク』に掲載されています。

- 目的: 世界の中のイラクの地理的理解を深める
- 対象: 小学校中学年以上
- 所要時間: 15～30分程度
- 備品: 世界地図(中東地図)、地球儀

■ すすめ方:

- ① 教師は教室の真ん中か広い場所に立ち、「わたしはイラクの首都のバグダッドです」と言い、東西南北を指し示します。
- ② 子どもたちに、アメリカ合衆国・イギリス・日本・ロシア・フランス・中国または他の国が位置する場所に立つように支持します
- ③ 子どもたちがそれぞれの位置に立ったら、話し合いをしながら、最終的に正しい場所に立つようにします。地球儀や世界地図などを使ってもいいでしょう。
- ④ その後、席につき、中東地図もしくは世界地図を利用して地理的理解を深めます。
 - ・ イラクの場所を見つけて色をぬってみましょう。
 - ・ イラクと国境を接している国はどこでしょう。その国名をあげてみましょう。
 - ・ イラクは日本やアメリカ合衆国より大きいでしょうか。想像してみましょう。

参考資料 (2003年実績)

面積	
日本	377,835km ²
米国	9,629,091km ² (日本の25.5倍)
イラク	437,072km ² (日本の1.2倍)

人口	
日本	127,214,499人(世界第10位)
米国	290,342,554人(世界第3位)
イラク	24,683,313人(世界第43位)

GDP(国民総生産/2002年実績)	
日本	\$28,700/1人(世界第3位)
米国	\$36,300/1人(世界第1位)
イラク	\$2,400/1人(世界第65位)

出典: CIA ワールドファクトブック
<http://www.cia.gov/cia/publications/factbook/index.html>

5歳未満児の死亡率/2001年実績	
日本	0.5%(世界第178位)
米国	0.8%(世界第158位)
イラク	13.3%(世界第33位)

出典: 世界子ども白書(ユニセフ/2003年)

小ねたクイズ ◆ イラクの言葉で「日本の……」と言うと、どのような意味でしょう？

- ①安い ②きれいな ③ずるい ④ひんじやくな

(答えは最後のページ➡)

アクティビティ2: イラク人質事件を考える

★web からダウンロード可。
実践事例も掲載しています。

イラクで武器を持ったグループが日本人 3 人を人質にとり、自衛隊の撤退を迫るという事件が起きました。その後、人質 3 人は解放されましたが、彼らが助かったことを喜ぶ声がある一方で、3 人がイラクに入国したことを疑問視する声もあがっており、メディアには様々な意見が出ています。

- 目的: 1. 様々な立場からの多様な意見と、その違いを知ること。
2. 自分自身の気持ちや意見を持ち、表現すること。

■ 所要時間: 30分～60分程度

■ 備品: 生徒用ワークシート(右ページの資料)

■ 事前準備:

事件について、参加者にある程度の予備知識が必要です。このアクティビティを行う前に、テレビニュースの映像や、関連する新聞記事を読んだり、進行役が経緯を解説したりする必要があります。できる限り、事件の背景が分かる資料をそろえておくといいいでしょう。

■ すすめ方:

- ① 参加者全員に次頁のシートと筆記用具を配り、AからHが、2004年4月にイラクで起こった日本人質事件に関するコメントの引用であることを説明します。
- ② 人質3人がとった行動に対して「肯定的」な言葉を探し、下線を引きます。その上で、どこに線を引いたか、なぜ、そう思うのかについて全員で話し合います。
- ③ 人質3人がとった行動に対して「否定的」言葉を探し、下線を引きます。その上で、どこに線を引いたか、なぜ、そう思うのかについて全員で話し合います。
- ④ 参加者は、自分がかもっとも共感できる意見を選び○印をつけます。また、逆に最も受け入れがたい意見を選び、□印をつけます。そのうえで、なぜ、そう思うのか、他の人と(3-4人のグループで)話し合ってみます。
- ⑤ A～Hのなかに、イラクの人びとの発言と、米国の人の発言が含まれています。それはどれとどれかを尋ねてみます。正解を告げ、それぞれの意見の意図について話し合ってみます。
- ⑥ 日本の人の発言はどれか、なぜ、そう思うのか、話し合ってみます。

■ 出典(正解):

- A: 犯人グループの声明文 (朝日新聞掲載/2004年4月11日)
- B: 米国パウエル国務長官 (毎日新聞掲載/2004年4月17日)
- C: 読売新聞社説 (2004年4月10日)
- D: ルモンド紙 (フランス/2004年4月14日)
- E: イスラム宗教者委員会アルクベイ氏 (朝日新聞掲載/2004年4月17日)
- F: 石破防衛庁長官 (朝日新聞掲載/2004年4月16日)
- G: 青木盛久元ペルー大使 (産経新聞掲載/2004年4月16日)
- H: 日本ビジュアルジャーナリスト協会 (団体HP掲載/2004年4月15日)

A 我々は、3人の拘束に関して、市民の生命を軽視する日本政府の姿勢を大きな苦痛を伴って聞いた。日本政府は、日本国民に対して最低限の敬意を払っていない。ましてや、イラク国民の命については敬意を払っているとと言えるのだろうか。

B 全ての人は危険地域に入るリスクを理解しなければなりません。しかし、危険地域に入るリスクを誰も引き受けなくなれば、世界は前に進まなくなってしまう。彼らは自ら危険を引き受けているのです。ですから、私は日本の国民が進んで、良い目的のために身を呈したことをうれしく思います。日本人は自ら行動した国民がいることを誇りに思うべきです。

C ただ、3人にも問題がある。イラクでは一般市民を巻き込んだテロが頻繁に発生している。それを承知でイラク入りしたのは、無謀な行為だ。3人にも、自らこうした事態を招いた責任がある。

D 阪神大震災以降、日本の高度経済成長期に生まれた子供たちは、日に日に人道活動やボランティアに数多く従事するようになった。イラクで人質になった彼等の仲間もそうだ。イラクで人質になった若い日本の三人は、イラクの泥沼の中で、善意だけを頼りにいったい何をしようとしていたのか？ 自覚がないのか、それともナイーブなのか？ 彼等以外に拘束されたと思われる二人の若者についても言えることだが、この出来事は日本の若者の間において利他主義の価値観が強まっていることを示すものである。

E 私たちは日本国民ではなく日本政府を責めているのです。自衛隊をイラクに派遣したことで憲法に反する行動をとったからです。

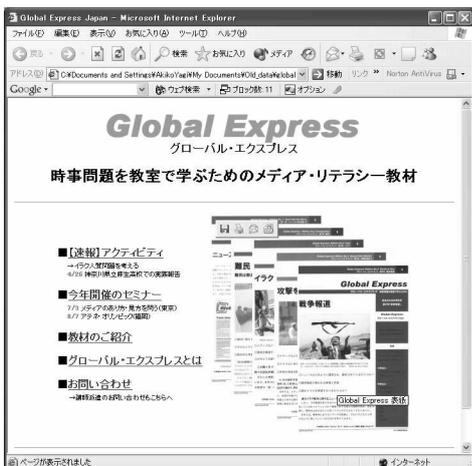
F 想定される危険から身を守る能力をもった組織は現在の日本国では自衛隊のほかには、ということで自衛隊が行っている。渡航自粛勧告が出ているわけで、(イラク支援活動は)いまは自衛隊でなければならない。

G そもそも自分の責任で行ったのだから、政府に助けてくれというのはおかしい。今イラクにいる日本人は『飛んで火にいる夏の虫』。殺されても文句は言えない。次に同様のことが繰り返されたら政府は責任を負いきれない。政府として「この人たちは日本国と縁もゆかりもない」という立場をはっきりさせたらどうか。

H このような事態を引き起こした最大の責任は、日本政府にあります。大義のないアメリカによるイラク爆撃と占領を全面的に支持し、多くの反対にもかかわらず自衛隊派兵を強行させたからです。イラク民衆を救援する人や、真実を伝えようとする人たちの努力を無視し、占領による矛盾をこの人々の上に転嫁しようとしているのです。

もし、政府の言うとおりに、NGOやフリージャーナリストが現地に入らなければ、事実と真実は伝わりません。とりわけ爆弾を落とす側ではなく、落とされる側の立場にたたなければ戦争の真の姿は見えません。

Global Express ニュース



■ホームページ移動しました

<http://www.globalexpress.jp/>

開設後1ヶ月で1万アクセスを突破し、大好評！

朝日新聞(2004年5月15日)、毎日新聞(2004年5月16日)の各教育欄でも紹介されました。

速報アクティビティのほか、イベント・セミナー情報も随時更新していきます。実践報告も充実させていきたいので、DEAR 会員の皆さまからの投稿お待ちしております。

■グローバル・エクスプレス日本版 第1号～5号 好評領布中！

今号の「アクティビティ1:イラクはどこだろう?」は、グローバル・エクスプレス第4号に収録されています。教育の現場で活用できるアクティビティが詰まったグローバル・エクスプレス。6月末日までは特別価格で、お得です。

全5号セット:会員価格 3,360円(税抜 3,200円) → 2,520円(税抜 2,400円)

- 第1号 ニュースに耳を傾ける(基本編)
- 第2号 攻撃を超えて(9.11 同時多発テロとイスラム)
- 第3号 難民(難民、日本における難民政策)
- 第4号 イラク(イラク問題、紛争の解決)
- 第5号 戦争報道(イラク戦争と報道)



➔ 「グローバル・エクスプレス サンプル版」について

- ・グローバル・エクスプレス・タスクチームが時事問題をテーマにした教材を速報アクティビティとして提案します。
- ・2004年度は「DEAR ニュース」の付録として年5回の発行を目指します(6月、8月、10月、12月、2月)。
- ・このサンプル版は、一定期間経過後、グローバル・エクスプレスのホームページに掲載されます。
- ・速報アクティビティへのご意見・ご提案・実践報告は大歓迎です。
- ・今年度、グローバル・エクスプレス・タスクチームには、ほとんど活動予算がありません。ご寄付も歓迎します。
(ご寄付は、セミナー開催費用、冊子印刷費用、HP維持費、資料購入費などに利用いたします)

➔ この教材のご利用について

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複製・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複製による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

特定非営利活動法人 開発教育協会(DEAR)
〒112-0002 東京都文京区小石川 2-17-41 富坂キリスト教センター2号館3階
Tel:03-5844-3630 Fax:03-3818-5940
E-mail: main@dear.or.jp URL: <http://www.dear.or.jp>



クイズの答え ◆ ②きれい : イラクでは「日本人は真面目でちゃんと仕事をする人たち」というイメージが一般的だそうです。市場で氷を売る時「日本の氷」というと「四角くてきれいな氷」というイメージがあって、よく売れるそうです(ホントはイラクでつくられた氷ですが・・)。